

2017年6月5日

お客様各位

Focus Report (6月2日) — 主要経済指標予測

インフレ率、為替レート、利率 予測 2017/2018年									
	市場*					TOP5**			
	2017			向う 12ヶ月 累積	2018	2017			2018
	5月	6月	通年			5月	6月	通年	
インフレ率(%) IPCA	0.46	0.20	3.90	4.55	4.40	0.44	-0.12	3.64	4.25
為替レート 期末(R\$/US\$)	-	3.24	3.30	-	3.40	-	3.26	3.45	3.55
Selic利率 期末(年-%)	-	-	8.50	-	8.50	-	-	8.50	8.50

*市場：ブラジル中銀が金融機関等から収集した経済指標予測の中央値。

**Top 5：前2ヶ月の短期的予測の的中率が高かった上位5機関を選び、その予測の中央値を別途集計したもの。

その他主要経済指標予測 2017/2018年		
	2017	2018
GDP(国内総生産)成長率(%)	0.50%	2.40%
工業成長率(%)	1.09%	2.50%
貿易収支(億米ドル)	564.0億ドル	430.6億ドル
経常収支(億米ドル)	▲243.2億ドル	▲369.5億ドル
外国直接投資(億米ドル)	780.0億ドル	787.5億ドル
公共部門純債務(GDP比-%)	51.50%	55.20%

出所：ブラジル中央銀行

【サマリー】

- 6月1日、IBGE（ブラジル地理統計院）より発表された2017年第1四半期のGDP成長率は前期比+1.00%（市場予測は+0.90%）と、2014年の第4四半期以来のプラス成長を記録。尚、17年末の市場予測は、+0.50% (+0.01%)と上方修正。一方、18年は+2.40% (▲0.10%)と下方修正。
- 2017年インフレ率予測は、3.90%（前週比△0.05%）と更に低下。
- 5月31日、金融政策委員会（COPOM）にて、政策金利（Selic）が1.00%引下げられ、10.25%に決定。また、17年末の政策金利予測は、8.50%（前週比不変）と、今後も金融緩和が継続される見込みであるが、一部市場では、汚職スキャンダルによる財政改革の遅延懸念から、今後、緩和ペースが減速するとの見方もあり。
- 先週のドル・リアルスポット相場は、汚職スキャンダルによるリアル安が、一旦落着きを見せ、3.21～3.28リアル台のレンジで推移。現在は、1ドル=3.28リアル台で推移中。